

新しい岸、女を巡る断片

写真学科
川島崇志

New coast, and a fragment over a woman.

Department of Photography
KAWASHIMA Takashi

本作品は、東日本大震災の後に、故郷の宮城で偶然拾った家族アルバムの持ち主との交流から始まったプロジェクトである。

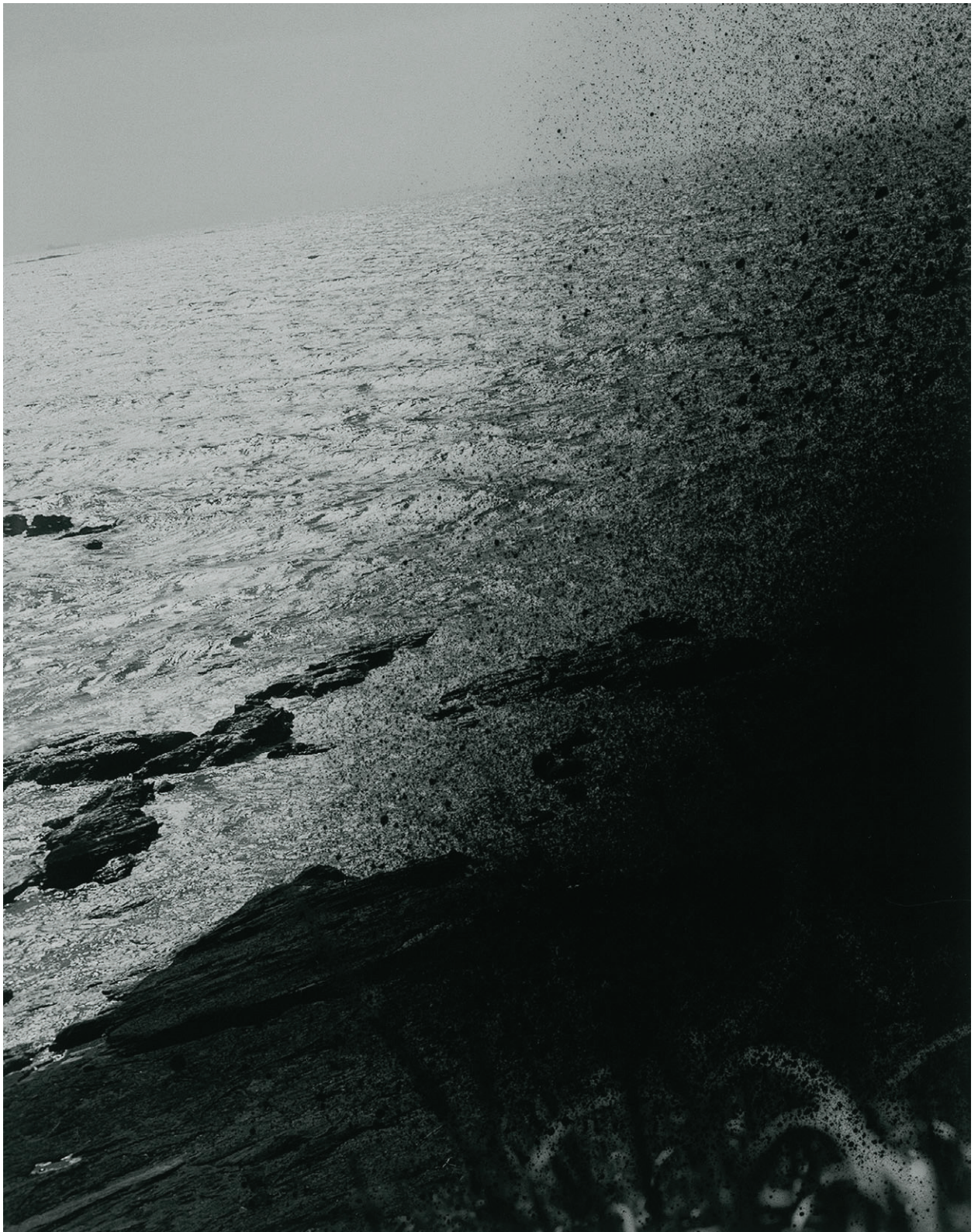
持ち主との対話の中から、不在の女性への追憶という、思わぬ方向へと導かれ、その経験をもとに不在をテーマにした断片的なアクティビティを行った。

断片的なアクティビティの集積は一方の見方のみを鑑賞者へ押し付けるのではなく、多分に想像する余地を持った、思考するための「ある全体」として鑑賞者へ提示される。

大きな転回と倒錯の中で、人間の中に沸き起こる一つの欲望は、覗き見の快樂のようにも思う。背徳感と快樂の葛藤の中で、抑えることのできない、「みてしまった。」という欲望とともに、「わからない。わからない。」と思考し続けること。

それが本作品における最大の結論とも言えるだろう。

本作品は2013年3月に個展「新しい岸、女を巡る断片」(G/P gallery, 東京, 日本)で発表され、以後同年、10月に写真集「New coast, and a fragment over a woman.」(Artbeat publishers, 東京, 日本)として出版された。





← New coast, and a fragment over a woman #008

archival pigment print (framed)
489mm × 660mm
2013

↑ New coast, and a fragment over a woman #008

archival pigment print (framed)
489mm × 660mm
2013




↑ New coast, and a fragment over a woman. #002

archival pigment print (framed)

489mm × 660mm

2013



See the reality as one of the floating island in the ocean of possibility.

↑ New coast, and a fragment over a woman. #015

digital serigraphic print on glass (framed)

489mm × 660mm

2013



THE CHANCE TO

HUMAN NA



RECOVER
NATURE



↑ New coast, and a fragment over a woman #011

Kesennuma, Miyagi / JAPAN
silk, archival pigment print (framed)
446mm×660mm
2013

← The chance to recover human nature

Shiroishi, Miyagi / JAPAN
wood (Japanese ash), archival pigment print (framed)
1480mm×1118mm
2013